

地域医療を担う ドクター

医療法人カーサミア やまおか在宅クリニック



医療法人カーサミア やまおか在宅クリニック
院長 山岡 憲夫 先生

平成21年7月大分市で在宅医療・在宅緩和ケア専門クリニックとして開業した「やまおか在宅クリニック」において、ここ6年間の在宅看取り数は、700人を超えているという。とりわけ特筆すべきことは、毎年120人以上のガン患者の訪問診療を行い、そのほとんどの患者を在宅で看取っているという点である。現在、厚生労働省は2025年問題を踏まえ“地域包括ケアシステム”の構築を急いでいるが、その実現にはこれまで以上に在宅医療を推進することが重要である。今回大分市で在宅医療のパイオニアとして地域医療に取り組んでいる「やまおか在宅クリニック」院長山岡憲夫先生に在宅医療・在宅緩和ケアについてお話を伺う機会を得た。

「胸部外科医の葛藤」

治す医療と向き合う医療

「私は、長崎大学医学部を卒業して25年にわたり外科医として医療に関わってきました。若い頃は、早く一人前の執刀医になりたいと思い自己研鑽に努めてきました。執刀を任せられてからは、手術が難しければ難しいほど外科医としてのやりがいを感じたものでした。生まれ故郷である大分に戻ってからは大分県立病院の胸部外科部長に任ぜられ毎週3例くらいの肺ガン手術を行い、その成果を学会で発表するなど忙しくも充実した日々を送っていました。当時の私は多くの外科医がそうであるように手術を行い、一人でも多くの患者さんを救うことが医師の使命であると考えていました。しかし肺ガンの手術を行えば行くほど“完治する患者さん”も増えるのですが手術を行った後“再発され病院に戻ってくる患者さん”も少なくないという現実も受け入れなければならませんでした。そんなある日、一人の若い女性患者さんが来院されました。その人は、高校1年生の時に肺ガンが見つかり私が手術した患者さんでした。永年、医者をやっていると忘れられない患者さんがいるものですが、私に“メスを置く”という決断をさせたのは“この患者さんとの邂逅（かいこう）”だったのかもしれないと考えるようになりました。

この患者さんはガンの手術を受けた後、一旦は良くなって高校に復学し大学へと進み無事に卒業されました。しかし23歳の時にガンが再発しました。私は医師として出来ること

は何でもしましたが、期待に応えるような成果を出すことは出来ませんでした。この時ばかりは何もしてあげられない“医師の立場である自分”を責めました。医師の私に出来ることはその患者さんをホスピスに転院させ見舞うことしか残っていませんでした。

この経験をしてからというもの、あんなに憧れていた“執刀医として数多くの手術ができること”に自分の心が満たされない状態が続きました。そして“どんなに難しい手術であっても多くの手術経験さえ積み重ねれば誰だってできるようになるのではないか”という考えが頭をよぎるようになったのです。いつの頃からか、私は“医師としてこのままで良いのだろうか？”という葛藤を抱くようになりました。次第に私の中で“医師の仕事”に対する捉え方に変化が生じてきました。これまでは“患者さんを治すこと”が医師の仕事だと考えてきたのですが、“治せなくなった患者さんとどのように向き合っていくのか”ということも医師の大切な仕事ではないかと考えるようになりました。そして手術を行う医師はたくさんいるが、緩和ケアに携わる医師は非常に少ない、それだったら自分がその道を切り拓いていこうという新たな目標を持ちました。その時、私はメスを置くことに何のためらいもありませんでした。それは丁度、私が医師になった時に抱いた気持ちと何ら変わりなく、『これから緩和ケアに挑戦するぞ！』という嬉しさに心が満たされたことを思い出します。幸い大分県立病院胸部外科には後輩の医師が育っていましたので私は病院を辞める意志を固めました。」

「在宅緩和ケア医をめざす」

大分市全体をホスピスに

「治せなくなった患者さんとどのように向き合っていくのか？ここに医師として踏込んで行かなければならないと考えた私は緩和ケアの知識や経験を積み自分の中で緩和ケアの基準を確立したいと考え、豪州のメルボルン病院の研修を皮切りに淀川キリスト教病院など緩和ケアで有名な全国の病院で研修を受けました。2004年、私は独立型ホスピス・大分ゆふみ病院の院長に就任することになりました。ゆふみ病院では、患者さんに最後の時間を幸せに過ごして頂くため、患者さんやその家族の要望にひたすら応えていました。緩和ケア医として痛みを取ることは当然のことですが、患者さんに喜んでもらうために七夕・クリスマス・餅つきなど様々なイベントを率先して行ってきました。しかし、どんなに患者さんに喜んでもらっ



やまおか在宅クリニック

ても病院にいる限り患者さんは自分らしさを取り戻すことができない“病人”なのです。本当は自宅に帰りたくて帰らたくてたまらないのに在宅医療の体制が整っていないばかりに病院にいることをガマンしている患者さんもいるのです。そういった患者さんの願いを叶えるには、私がか

在宅医療専門のクリニックを開くしかないと考えに至りました。そして約7年前に“大分市全体をホスピスに！”することを目的に24時間体制で365日対応する在宅医療専門の“やまおか在宅クリニック”を開院しました。医師一人、看護師一人で始めたクリニックも開院してから半年で、病院や患者さん、そのご家族から多くの相談が寄せられ、約200人の在宅患者さんを診るようになりました。順調に開業することができたのですが、開業前、経営的な不安が全くなかったと言えウソになります。(笑)」

「患者さんの幸せの創出」 看取りの文化を拓ける



やまおか在宅クリニックのスタッフの皆さま

「現在、当院では医師2人、看護師8人、事務4人、運転手2人の計16人体制で1日20～30件の訪問診療を行っています。対象の患者さんは外来通院が困難な方や在宅での診療を希望される方です。具体的にはガン・脳梗塞後遺症・寝たきり・神経難病・認知症・小児疾患など外来通院が困難な方すべてです。在宅医療を行う上で、私が心がけてきたことは“どうすれば患者さんの幸せ感を高めることができるか”ということです。患者さんの死ぬ辛さを和らげるのは幸せの創出に他ならない、と思います。それは患者さんに“家族との絆”を感じさせることに尽きます。私は患者さんと家族の最高の思い出づくりのために何をしたら良いのか、といつも考えています。12月はサンタクロースの格好で診療に伺いますし、患者さんのために何度も結婚式を行ってきました。その際、必ず患者さんとご家族の記念写真を撮るようにしています。皆さん本当に良い表情をされますし、大変喜ばれます。これは、在宅医療を受ける患者さん、特に在宅療養のガン終末期患者さんにとっては最後のクリスマス、最後の結婚式となるかもしれないからです。」



クリスマスの往診

在宅医療を推進する上でガン拠点病院の先生方に安心してガン患者さんを在宅に送り出してもらうことが重要と考え、在宅でも十分な緩和ケアが行えているという事実を、一人でも多くのドクターに知ってもらう為に、積極的に勉強会などで示してきました。また、医療従事者に留まらず、多くの人々に在宅緩和ケア・在宅医療について正しく理解してもらうために2000年には大分県緩和ケア研究会を立ち上げましたし、学会・講演なども積極的に行なっています。

ほとんどのガン終末期患者さんや重症な患者さんのご家族は在宅で療養させる経験は初めてなので、患者さんがいつ急変するのか、いつ亡くなるのかといった不安を抱えていらっしゃいますし、在宅療養における家族の過労も心配されます。」



在宅カンファレンスの様子

「だから、ガン終末期患者さんなどの重症な患者さんを在宅で診るのは医師一人の力ではとても難しいと思うのです。患者さんが住み慣れた家でその人らしく最後を迎え、家族も安心して療養できる環境を創るためには緊密な他職種（在宅主治医・病院の医師や地域連携室のスタッフ・訪問看護師・ケアマネージャーやヘルパーなど）の連携が迅速に図れる体制を築かなければなりません。」

やまおか在宅クリニックでは、4人のガン在宅療養支援コーディネーターが、在宅の受け入れや在宅継続、看取りまでをスムーズに行うため、他職種との連携の橋渡しを行い、在宅現場にも積極的に出向きガン患者さんやご家族の安心感を引き出す役割も担っている。また、やまおか在宅クリニックは、22か所の訪問看護ステーションと連携し患者さんの急変に対応しているという。

「今後我が国の高齢化は急激に進みガンを含め種々の疾患で亡くなる人は益々増加すると思いますし、医療費の高騰を考えますとガンなどの終末期患者さんを在宅で診ていく必要性は更に高まると思います。“家で看取るという文化”を築くことは私の使命と考えています。そういった意味では、私が行ってきた在宅医療は道半ばどころかまだまだ道一分に過ぎないと思っています。」

編集後記

県立病院の胸部外科部長という役職を辞し、在宅医療を切り拓いてきた山岡院長のパイオニア精神に大変驚かされた。「何としても在宅患者さんに幸せな最期を迎えさせる」という院長の信念に胸を打たれた取材であった。

施設名：医療法人カーサミア やまおか在宅クリニック
場所：大分県大分市東大道3丁目62-5
URL：http://www.home-clinic.jp

取材・編集担当
アイティーアイ株式会社 営業本部 小林・満尾
住所：福岡市博多区博多駅東3-1-26
博多駅イーストプレイス4階
TEL：092-472-1881

本社：長崎
支社：福岡・熊本
支店：北九州・久留米・佐賀・長崎・佐世保・大村
八代・大分・宮崎・都城・鹿児島・沖縄
営業所：山口・筑豊・五島・天草・延岡・川内・鹿屋
沖縄中部
連絡事務所：東京・東関東・千葉・東京西・神奈川・つくば
川越・木更津・群馬